

開催報告

G III - Vol.123 熊本アートパレード名品展

アートパレード パレード

出展者

角軍亀 岡松トモキ 永田順子 荒木宣男 河野基春 三藤有希子
光武美沙希 福島房雄 佐伯勝利 一村謙三 かるろす 堀川仁彦 野田ちか子
ギャバ釘本



市民美術の祭典・熊本アートパレードから、ステキなアーティストたちが大集合！

2018.6.13(水) ————— 8.12(日) 10:00—20:00 火曜日休館
入場無料

会場 熊本市現代美術館ギャラリーⅢ、井手宣通記念ギャラリー

熊本市現代美術館 CAMK Contemporary Art Museum, Kumamoto
〒860-0845 熊本市中央区上通町 2-3 Tel: 096-278-7500 Fax: 096-359-7892

GIII vol. 123 熊本アートパレード名品展 アートパレード・パレード

会期 2018年 6月13日(水)-8月12日(日)

会場 熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ、井手宣通記念ギャラリー

出品作家 角軍亀、岡松トモキ、永田順子、荒木宣男、河野基春、三藤有希子、
ギャバ釘本、光武美沙希、福島房雄、佐伯勝利、一村謙三、かるろす、
堀川仁彦、野田ちか子

熊本アートパレードとは、平面、立体、映像、書の部門に、15歳以上の熊本市ゆかりの方であれば、どなたでも無料で参加することのできる公募型の美術展です。平成元年に熊本市市民美術展としてスタートして以降、平成15年に熊本市現代美術館が事業を継承し、熊本アートパレードとしてリニューアルを行い、今日まで実施してきました。

本展では、熊本アートパレードに長年ご出品いただき、多数入賞されてきた方を中心に、今後の活躍が期待できる方、‘気になる作品’を出品されている方など、学芸員が審査に立ち会うなかで見つめてきた、「この方のこの作品が素晴らしい!」という逸品をご紹介します。

一村謙三さんは、これまで最多の4回入賞。元美術教師でコツコツと長年発表を続けられました。2000年頃は戦争体験を反映した平和を願う作品が多かった一方、近年は穏やかな夫婦生活を描く作風へと変化。借用にご自宅に伺ったところ、これまでアートパレードに出品された作品が数多く残され、一村さんの人生の記憶が一気に蘇ってくるようでした。残念ながら故人となりましたが、会場には多くの教え子の方がおいでになり、思い出を語っていらっしやっただのが印象的でした。

その他にも、熊本各地のマラソン大会にユニークな「かぶりもの」で出走するかるろすさんのオブジェや、一度見たら忘れられない、驚くほど細密な描写で知られる日本画の角軍亀さんを始め、平面は永田順子さん、荒木宣男さん、河野基春さん、ギャバ釘本さん、福島房雄さん、三藤有希子さん、光武美沙希さんが出品。映像やオブジェでは、佐伯勝利さん、岡松トモキさん、堀川仁彦さん、野田ちか子さんなど、ベテランから若手まで、皆さん生き生きと制作に取り組まれるアーティストばかりでした。作品の向こう側に、熊本という場所でともに生きる、一人の人間としての考え方が透けて見えることで、共感が多く生まれた展示となりました。

編集：坂本頭子（熊本市現代美術館学芸事業班主査・学芸員）



